

2006年夏のアフガン子どもサーカス来日公演に向けて 現地訪問の予定とカンパ(渡航費および輸送費)のお願い

渡航期間：2月13日～3月10日

渡航予定者：今川夏如・戸口綾子・長谷部雅美・福田智美・鈴木雄介・橋本勇太・前田真吹



アフガニスタン子どもサーカス「MMCC」とは

MMCC (Mobile Mini Circus for Children モバイル ミニ サーカス フォー チルドレン) は、様々な事由により、心理的、社会的にサポートの必要な子どもたちを守るプロジェクトです。人々の生活や子どもたちの成長に欠かせない、「文化・教育・笑い」を、サーカスによる、歌や踊り、演劇を通じて提供しています。

- Making children laugh is a Goal. -

私たち MMCC は、「子どもたちを笑わせること」をひとつの目標に掲げています。一番大切なことは、子どもたちに教育を提供すること

です。しかし、長年にわたる紛争は、子どもたちの心に大きなトラウマとなって残っています。そんな子どもたちが、正しい知識を、正しい方向に使えるように導いてあげなければならないのです。いくら知識が豊富になっても、その知識を復讐や、犯罪行為に使おうとしてしまってはいけません。知識を得ると同時に、心の傷を癒し、将来の国造りを担える大人に成長していただきたい。楽しむこと、笑うことを教育の中に織り交ぜていくことが、戦争を生き抜いた子どもたちには必要なのです。サーカスには、ジャグリングや、物語の読み語り、人形劇、アクロバット、演劇、クラウンコメディ(ピエロコメディ) 音楽、お絵描き、たこ揚げ(アフガニスタンの伝統的な遊び)、スポーツ、炎を使った曲芸などがあります。アフガニスタンの人々は、各部族ごとに異なる文化・習慣を持っています。私たちのサーカスは、それらの異なる文化や習慣を尊重するとともに、それぞれの習慣の違いや長所を、サーカスの中に織り交ぜ、異なる文化・習慣を尊重する心を育て、よりよいイスラム社会の構築に貢献していきます。MMCC は 2002 年にアフガニスタンの首都カブールで結成され、すぐに移動するためのバスを手に入れ、各主要都市だけにとどまらず、小さな村や辺境地区にも出向き、ここ約3年の間に、40万人にのぼる人々に、"夢"と"教育"と"笑い"を届けています。



今回の渡航の目的

1. 来日公演に向けた事前準備
 - ・ 実際に来日するメンバーや、スタッフとの打ち合わせ。
 - ・ 子どもたちと事前に交流することで、来日の際の精神的な負担を軽減する。
 - ・ 演目や、選曲等の調整。
 - ・ アフガニスタン側からの要望や、滞在についての注意点の確認。
 - ・ 来日中の子どもたちの研修内容の調整。
 - ・ 子どもたちのパスポート、ビザの手配確認。
 - ・ 大使館や関係省庁との打ち合わせ。
2. 支援金を届けます。
 - ・ アフガニスタンチャリティカレンダーの売り上げ。
 - ・ ポストカードやその他のグッズの売り上げ。
3. 状況の視察
 - ・ プロジェクトの進行状況
 - ・ 子どもたちの様子など

渡航の時期と期間

2月13日～3月10日までを予定。ただし、治安情勢など総合的に判断し、危険が大きく、それに対処できないと判断される時は計画は中止する。その判断はMMCCのセキュリティポリシーを参考に、今川夏如が行う。現状では治安は安定状態にあるが、様々な事件の発生により急激に変化する。



渡航費&輸送コストカンパのお願い

皆様からいただいた支援金(カレンダーやグッズの売り上げ)は渡航費には使いません。これは当初から決めていたことです。もちろん自費で行くわけですが、正直安い金額ではありません。現地からの要望により事前に購入していくものもあり、荷物を運ぶだけでも費用がかかります。個人的な負担が大きく、帰国後の継続的な活動をささえるためにも、今回のカンパのお願いをすることになりました。カンパは1口3,000円とし、何口でもかまいません。ご協力いただいた皆様には、帰国後に渡航報告書をお届けします。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

なにかご不明な点がありましたら、JAPAN-MMCC事務局までご連絡ください。

info@japan-mmcc.com

カンパおよび支援金の振込先 1口3,000円 通信欄に渡航費カンパとご明記ください。
郵便振替 00160-8-352345 特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

渡航予定者から一言

ただいま大学院生をやっている長谷部雅美です。2005年2月に初めてアフガニスタンへ渡航しました。そのときに出会った子どもたちのことが忘れられず、今日まで関わり続けています。来日公演では一人でも多くの方にアフガニスタンの子どもたちの姿を見てほしいです。それでもってみなさんと一緒に考えたいです!! どうしてアフガニスタンは今このようになってしまったんだろうと...。私は彼らに何をしてしまったのんだろうと...。今年もアフガニスタンへ行ってきます。子どもたちとの再会が待っています!! 今回は前回とは違った関わりになると思いますが、とにかく一生懸命、子どもたちと共に生きてきたいと思えます。(長谷部雅美)

アフガニスタンのこどもたち、日本のこどもたち、そして日本のおとなたち。この来日公演を通じてみんなが笑顔になれる時間をつくるお手伝いのできたらと考えています。そして、みんなが笑顔を共有することで、遠くのアフガニスタン、遠くの日本ではなく、楽しい時間をすごした人たちがいる心の距離は近いところになったらいいなあと考えています。来日公演がみんなにとって素敵な時間になるように一生懸命がんばりたいと思えますのでどうぞよろしく願いいたします (福田智美)

今回の渡航で5回目になります。支援金の総額も、今回の渡航で持って行く分をいれると、もうすぐ4年になるこのプロジェクトですが、400万円に到達しそうです。まだ、カレンダーの売り上げの集約などが終わっていませんが、みなさまからのたくさんのご支援・ご理解・ご協力、誠にありがとうございました。ひとりでポストカードを作っていた頃から決めていたことですが、グッズの売り上げは渡航費には使いません。自費です。もちろん、みなさまからのカンパの割合もとても大きく、私たちの活動に、みなさまからのカンパは欠かせないものとなっています。ポストカードができたのも、カレンダーができたのも、子どもたちの来日企画ができたのも、支えていただいた皆様のおかげです。2006年も、どうぞよろしく願いいたします。(今川夏如)